



産業廃棄物処理計画書

5 年 6 月 20 日

都道府県知事
(市長)

殿

提出者 ㊟879-0733 大分県豊後高田市荒尾922番地
住 所 北崎牧場株式会社
氏 名 代表取締役 北崎敏文
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 ㊟ TEL0978-27-3354

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	北崎牧場株式会社 代表取締役 北崎敏文
事業場の所在地	㊟879-0733 大分県豊後高田市荒尾922番地
計画期間	R5 4/1 ~ R6 3/31
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	01 農業
②事業の規模	肥育牛 290頭
③従業員数	家族 4名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	糞尿のふん尿 自ら車まで利用する 糞尿の死体 化製場へ委託処理

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

市長 廃棄物処理方針の決定

廃棄物処理士に関する各種事項の決定

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	排 出 量	1800 t	0.8 t
	(これまでに実施した取組) ・動物のふん尿は自ら7化として再利用した ・動物の死体は化製場へ委託処理している		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	排 出 量	1800 t	1 t
	(今後実施する予定の取組) 現状どおり		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当なし
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当なし

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ R4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	1800 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	1800 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	全処理委託量	0 t	0.8 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	・動物のふん尿は自ら再生利用する ・動物の死体は化製場に委託に 処理する		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	全処理委託量	0 t	1 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 動物のふん尿は 自ら再生利用する ・ 動物の死体は 化製場 に委託 して 処理する。		
※事務処理欄			